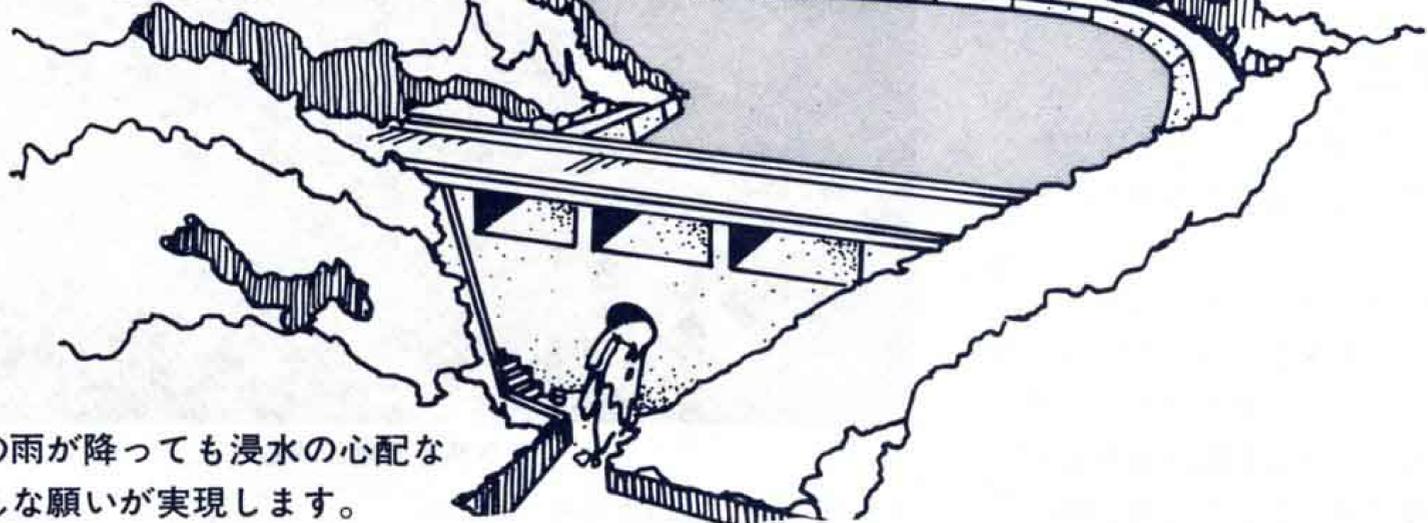


# 治水対策のエースに

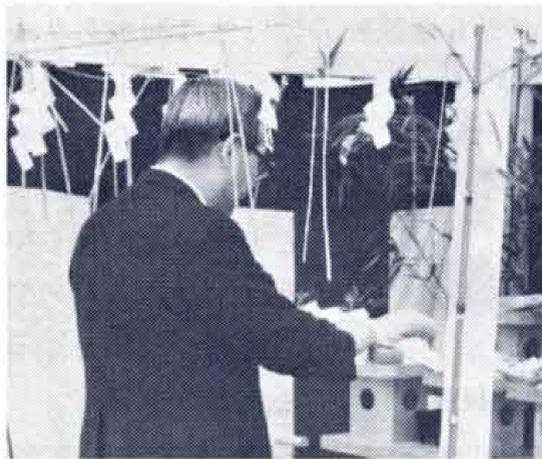
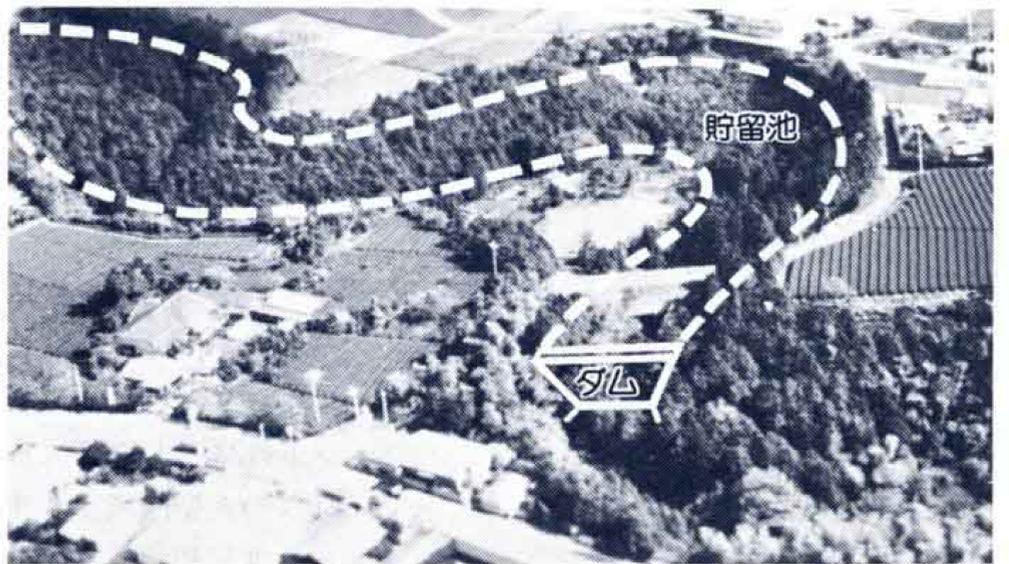
## 片倉雨水貯留池建設はじまる



少々の雨が降っても浸水の心配なし、そんな願いが実現します。

全国で初めて大淵地区片倉地先に建設される雨水調整ダム（片倉雨水貯留池）は、小潤井川流域の吉原地区市街地の水害防止対策として、今年度から3ヵ年計画で、国の補助を受けながら総事業費約11億円をかけて建設されます。

1月19日には起工式も終わり、災害に強いまちづくりへ力強く第一歩をふみ出しました。



### 治水対策に新しい考え方を

富士市の地形は、富士山麓の丘陵地のため、山間部に降った雨が、短時間のうちに、急激に平坦部の吉原地区市街地に出水する特性があります。

また、昔の富士川の流れの影響で、

市街地を流れる河川のほとんどが、横断するように流れている悪条件もあり、何回となく浸水の被害がでていました。

このため、市街地を流れる伝法沢川下流の小潤井川、和田川、田宿川、松原川などの河川は、毎年度改修工事を行っています。今後ますます

# 私のひとこと

## どんど焼に行って

市政や日常生活のことなどについて、あなたの意見や質問をお寄せください。紙上の匿名はさしつかえありませんが、原稿には住所氏名、年齢を必ずお書きください。  
▷送り先 市広報広聴課

一月十四日、昔からの行事どんど焼が行われ、子どもと楽しんできました。

当日は、火力で顔をまっ赤にしながら木に刺した団子を焼き、久しぶりに童心にかえったものです。

ただ、この行事をとおして感じたことがありましたのでつづつてみました。

どんど焼を行う前に子どもも会役員さんは、各家庭のしめ飾りを集め、おんべ、こんべに使う竹を買いに行き、朝から仕度をしてくれました。

私たちが子どもころは、六年生を中心にしめ飾りを集め、竹も買いに行きました。上級生がリーダーシップをとり、下級生の指導をする。そこに子どもたち同士のふれあいできていたように思います。

大人が全部仕度をしてやらないと何んにもできないと言われていたいまの子どもたち。しかし、できないのではないと思います。

親が教えない。させないということの方があたってのかもしれない。

子どもたちにもできることはさせるようにみんなで考えたいと感じたのは私だけだったでしょうか。  
(一市民)